

令和7年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	総合国語	単位数	2
対象学年・組	3学年全クラス				
使用教科書	「文学国語セレクション」東京書籍				
使用教材	「プライム常用国語」第一学習社、「最新国語便覧」浜島書店				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			現・ 場・ 書・ 読	話					
1 学 期	単元 小説「ナイン」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く小説の設定や時代背景を把握し、登場人物の人間関係とその心情を読み取る。	・ストーリーの概略を把握する。 ・作品の舞台設定を理解する。 ・人物の気持ちを読みとる。			【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く小説の設定や時代背景を把握し、登場人物の人間関係とその心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	単元 評論「演技する私」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめる。	・本文で取り上げられている作品と作者について確認する。 ・筆者の提案する発想の転換について理解する。 ・筆者の主張を読みとる。 ・これまでに読んだ「語り手が『私』で作者その人を連想させる」小説について改めて「『私』」と「作者その人」の関係を考え、文章にまとめる。		○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	○	○	○	13
	定期考査					○	○		1
2 学 期	単元 小説「山月記」 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使おうとする。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係の踏まえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合う。	・作者について知る。 ・難語句や重要な漢字の意味、用法を確認する。 ・人物の行動、状況、心理をとらえる。 ・主人公の生き方について考えを深め、話し合う。		○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係の踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	単元 小説「こころ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合う。	・近代文学における漱石の位置づけについて確認する。 ・テキスト収録部分に至るまでのあらすじを確認する。 ・人物の行動、状況、心理をとらえる。 ・「私」の行為や心理についてどのように考えるか、話し合う。		○	【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	16
	定期考査					○	○		1
3 学 期	単元 詩歌「硝子の駒―短歌抄」 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめる。	・短歌の歴史、伝統、形式を確認する。 ・それぞれの作品を鑑賞し、情景や季節観、世界観を読みとる。 ・印象に残った短歌について内容を理解し、ひかれた理由についてまとめる。		○	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	○	○	○	8
	学年末考査					○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2
対象学年・組	3年全クラス				
使用教科書	歴史総合 近代から現代へ				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 【知識及び技能】 ・15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしている。	①ヨーロッパで成立した主権国家と主権国家体制について、その特徴を理解する。 ②中世に支配的であったカトリック教会の改革の動きである宗教改革の考え方や影響について考察する。 ③ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響について考察する。	【知識及び技能】 ・ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解している。 ・15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・宗教改革とヨーロッパ人の海外進出、および宗教改革と科学革命の結びつきについて考察しているか。 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしているか。	○	○	○	13
	一学期中間考査			○	○		1
1 学 期 期 末	ヨーロッパ経済の動向と産業革命 【知識及び技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしている。	①産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理解する。 ②産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。	【知識及び技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解しているか。 ・大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしているか。 ・産業革命による人々の生活の変化を追及しようとしているか。	○	○	○	15
	一学期期末考査			○	○		1
2 学 期 中 間	アメリカ独立革命とフランス革命 【知識及び技能】 ・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・アメリカ独立革命がその後の世界に果たした影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。	①七年戦争の勝利後におけるイギリスの北アメリカ植民地の拡大と変遷を理解する。 ②アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界に果たした影響を考察する。 ③フランス革命の経過と革命の成果を理解し、その後の世界に果たした影響を考察する。 ④ナポレオン戦争の経過と、ヨーロッパにおける変化を理解する。	【知識及び技能】 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・フランス革命がその後の世界に果たした影響を多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしているか。	○	○	○	5
	19世紀前半のヨーロッパ 【知識及び技能】 ・ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・資本主義に対抗する論理として社会主義がうみ出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ウィーン体制によってフランス革命以前に戻そうとする試みが、民衆の反発によって崩壊していった点を見出そうとしている。	①ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解する。 ②自由主義の運動と1848年にヨーロッパでおこった一連のできごとを理解する。 ③ナショナリズムの特徴とイタリア・ドイツの国家統一への動き、フランスの二月革命後の国内状況、イギリスの諸改革などを理解する。 ④資本主義の対抗理論として社会主義がうみ出された背景について考察する。	【知識及び技能】 ・ウィーン体制がめざしたものと、自由主義やナショナリズムがめざしたものが対立していく構造を理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・資本主義に対抗する論理として社会主義がうみ出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドイツとイタリアの統一運動が失敗に終わった要因を見出そうとしているか。	○	○	○	8
2 学 期 期 末	帝国主義と列強の展開 【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	①第2次産業革命の概要を年表にまとめ、それがどのように世界を変化させていったのかを理解する。 ②帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。	【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめているか。 【思考力・判断力・表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究しようとしているか。	○	○	○	8
	第一次世界大戦とロシア革命 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響を与えたことを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追及しようとしている。	①バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察する。 ②総力戦による社会の変化を理解する。	【知識及び技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解しているか。 【思考力・判断力・表現力等】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響を与えたことを多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追及しようとしているか。	○	○	○	7
3 学 期	経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・世界恐慌の発生の原因・過程・結果について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していったのかを追及しようとしている。	①ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を理解する。 ②ヒトラーとナチ党がドイツで政権を獲得し、独裁体制を確立した経緯とその結果について考察する。 ③1930年代のヨーロッパにおけるファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。 ④ドイツの拡張主義的な対外政策と他国の反応から、第二次世界大戦発生の原因を理解する。	【知識及び技能】 ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかをまとめているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基盤にして、多角的に表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追及しようとしているか。	○	○		9
	学年末考査						1

令和7年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	2
対象学年・組	第3学年 A組・B組・C組・E組				
使用教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）				
使用教材	ポイントノート数学Ⅱ（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 【知識及び技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 定期考査	・指導事項 指数の拡張 累乗根 指数関数のグラフ ・教材 新 高校の数学Ⅱ ポイントノート数学Ⅱ ・一人1台端末の活用 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・指数が正の整数の場合に、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・指数が整数や有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・ $a^n \div a^m = a^n \times a^{-m}$ として処理することができる。 ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ・累乗根を含む計算では、分数の指数を利用して計算することができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・指数関数を含む方程式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・指数が0や負の整数、有理数の場合も正の整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。 ・指数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数の範囲を正の整数から有理数に拡張する過程に関心をもち、どのように定義すればよいかを調べようとする。 ・指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	○	○	○	13
				○	○		1
1 学 期 期 末	第4章 指数関数・対数関数 第2節 対数関数 【知識及び技能】 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・指数と対数を交互に関連付けて考察することができる。 ・対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 定期考査	・指導事項 対数 対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数 ・教材 新 高校の数学Ⅱ ポイントノート数学Ⅱ ・一人1台端末の活用 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・指数と対数とを交互に書きかえることができ、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算ができる。 ・底の変換公式を適用することができる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・対数の定義に基づいて、対数関数を含む方程式を解くことができる。 ・正の数 $a \times 10^p$ の形で表現して、対数の値を求めることができる。 ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 ・常用対数を利用して、桁数の問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・対数 $\log_M M^p = p$ を満たす指数 p を表していることを理解している。 ・指数法則を利用して、対数の性質を考察することができる。 ・対数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 ・ n 桁の数を不等式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数と対数との相互関係に興味・関心をもち、 ・対数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 ・桁数の問題を一般的に考察しようとする。	○	○	○	15
				○	○		1
2 学 期 中 間	第5章 微分法と積分法 第1節 微分法 【知識及び技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかき方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 定期考査	・指導事項 微分係数 導関数 接線 関数の増減 関数の最大値、最小値 ・教材 新 高校の数学Ⅱ ポイントノート数学Ⅱ ・一人1台端末の活用 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・平均変化率の定義を理解し、それを求めることができる。 ・微分係数の定義を理解し、それを求めることができる。 ・定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ・公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 ・導関数を利用して、関数の増減や極値を調べたり、グラフをかいたりすることができる。 ・関数の増減や極値を調べるのに、増減表を書いて考察している。 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・関数の極限値を直感的に理解し、それを求めることができる。 ・グラフ上の2点を直線の極限が接線となることを理解し、微分係数の定義と関連付けて捉えることができる。 ・関数の増減を直線の傾きから考察することができる。 ・最大値・最小値と極大値・極小値との違いを、意識して考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・接線の傾きと微分係数との関係を図形的に考察しようとする。 ・関数の増減や極限を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。	○	○	○	13
				○	○		1
2 学 期 期 末	第5章 微分法と積分法 第2節 積分法 【知識及び技能】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微分と積分の関係について着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 定期考査	・指導事項 不定積分 定積分 定積分と面積 ・教材 新 高校の数学Ⅱ ポイントノート数学Ⅱ ・一人1台端末の活用 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・不定積分の定義や性質を理解し、不定積分を計算することができる。 ・不定積分の計算では、積分定数を書き漏らすに示すことができる。 ・与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 ・定積分の定義や性質を理解し、定積分を計算することができる。 ・直線や放物線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 ・定積分は定数であることを理解している。 ・面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めたり、不定積分の性質が成り立つことを確かめたりしようとする。 ・面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数であることに興味・関心をもち考察しようとする。	○	○	○	15
				○	○		1
3 学 期	第3章 三角関数 【知識及び技能】 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを理解し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 学年末考査	・指導事項 三角関数のグラフ ・教材 新 高校の数学Ⅱ ポイントノート数学Ⅱ ・一人1台端末の活用 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・ $y = \sin \theta$ 、 $y = \cos \theta$ 、 $y = \tan \theta$ の周期とグラフの形の関係に注意して、正しいグラフがかけらる。 ・ $y = \sin \theta$ 、 $y = \cos \theta$ のグラフをもとにした、いろいろな三角関数のグラフのかき方を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $y = \sin \theta$ と $y = \cos \theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味・関心をもち、 ・周期関数に興味をもち、三角関数のグラフの特徴を考察しようとする。	○	○	○	9
				○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年・組	3年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育				
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、 実生活への取り入れ方	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。	オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 水泳	【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 安全に配慮して行動することができる①②③ 体の使い方が適切にできているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	25
2 学 期	【具体化する・構造化する】 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようにする。 (ソフトボール) 用具の使い方など安全に配慮して行動する ボールの投げ方をスムーズに行うことができる バッティングがスムーズにおこなうことができる (バスケットボール) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団の技能	武道（柔道） 水泳 バドミントン サッカー 卓球 ソフトボール 陸上競技（長距離走）	主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 相手に配慮したパスを出すことができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	30
3 学 期	【具体化する・構造化する】 (バスケットボール) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団の技能 【理由付けする・関連付ける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。	陸上競技（長距離走） 体育理論	【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①② マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する	○	○	○	15

令和7年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
対象学年・組	3学年 A組 B組 C組 E組				
使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ（三省堂）				
使用教材	プリント、Active Listening4、チャンクで英単語（三省堂）				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の特徴やきまりなどの理解や外国語の音声や語彙・表現、文法の知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	外国語で情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの理解を深め、その知識・理解を4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、英語で発信される情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自ら適切に表現できる力を養う。	英語という言語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	「 」 語 発 話	書						
1 学 期	C 単元 LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 ・玉木さんへのインタビューについて、理解する。 ・形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の切手について紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	C 単元 LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 ・モン・サン・ミシュルについて、理解し正しく使う。 ・現在完了進行形／過去完了形／過去完了進行形に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の世界遺産について、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C 単元 LESSON 6 Smart Agriculture 【知識及び技能】 ・スマート農業について、理解して考えを深めることができる。 ・現在完了形の受け身／助動詞＋受け身に関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ドローンの危険性について、相手に意見や考えを求める表現を用いて、考えを伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	C 単元 LESSON 7 Martial Art on Tatami 【知識及び技能】 ・競技かるたについて、理解する。 ・関係代名詞の非制限用法／関係代名詞whatに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 正月の風物・日本のお土産について紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
3 学 期	C 単元 LESSON 8 Biologging 【知識及び技能】 ・バイオロギングについて、理解し正しく使う。 ・分詞構文／強調構文に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校内の出来事／ペットの記録計について、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	教養国語（3年選択）	単位数	2
対象学年・組			第3学年 A・B・C・E組		
使用教科書			「熱き国語 基礎Ⅰ」 尚文出版		
使用教材			「漢字ボックス」 浜島書店		

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。	目的や場に応じて実社会の問題や自分にかかわる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら、情報を収集、整理して伝え合う内容を検討する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書	読					
1 学 期	A 単元 「失敬のすずめ」、新聞の活用 【知識及び技能】 ・接続詞の適切な使い方を理解する。 ・新聞の活用を通して語句の量を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・前後の文脈や呼応する語の働きを理解する。 ・新聞の活用を通してさまざまな表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わおうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、自分の考えを形成しようとしている。	○	○	○	4
	A 単元 「陸上競技大会出場に向けて」、履歴書の書き方、自己説文作成 【知識及び技能】 ・場面に合わせて文章表現、言葉遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から必要な情報を読み取り、適切に表現する。 他者に伝わる文章の展開を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自己を見つめ、他者に伝わる表現方法を身に着ようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・情報を適切に収集、利用し、考えを深めることができる。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	A 単元 「朝日高校の制服」、ポップ作成 【知識及び技能】 ・読解やポップ作成を通して語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・ポップ作成を通してさまざまな表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の人間関係など意識しながら作品を味わおうとしている。 ・積極的に創作活動を行い、読書の意義を理解しようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	○	○	○	10
	A 単元 「書き取り・読み（長文編）」、ビブリオバトル 【知識及び技能】 ・主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自分の考えを形にし、相手に伝えようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・話し言葉と書き言葉の特色や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。	○	○	○	【知識及び技能】 読書活動の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○		○	○		1
2 学 期	A 単元 「風が強く吹いている」、語彙の向上 【知識及び技能】 ・対義語、類義語、四字熟語など言葉について興味をもち、理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら読解する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して、他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・話し言葉と書き言葉の特色や役割、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して、他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	6
	A 単元 「虹」、「ダ」と「ガ」の間 【知識及び技能】 ・修辞技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・修辞技法があることによりどのような効果があるか考え、内容理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した表現方法を積極的に社会生活に生かそうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・省略や反復など表現の技法について理解を深め使う。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 「書くこと」において、場面や内容について自分の見解をまとめ、学習したことを実生活で活用しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	A 単元 「手紙の書き方、ことわざ・慣用句・対義語 【知識及び技能】 ・語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面に合わせて手紙の書き方があることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現方法を工夫しながら積極的に手紙を書くようにしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。	○	○	○	【知識及び技能】 語彙を増やそうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた言葉を使い分けことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 状況に応じた文章の書き方を進んで学ぼうとしている。	○	○	○	8
	A 単元 「大がいた季節」 【知識及び技能】 文章の意味を文脈から推測する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わおうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言語の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○		1
3 学 期	A 単元 「子供の時間」、現代用語・略語 【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の表記に興味をもち積極的に調べたり考えたりしようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものが見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものを見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	○	○	○	7
	学年末考査		○	○	○		○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	教養世界史（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	3年生 教養世界史 選択者				
使用教科書					
使用教材					

教科の目標	
【知識及び技能】	現代を生きる我々に必要な、過去の知識を得る。
【思考力、判断力、表現力等】	我々は現在、なぜこのような世界に生きているのか思考し、表現することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	何事にも疑問を持ち、積極的に調べ学習を行う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	単元 文明の誕生 ①自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ②おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 壁面や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
				○	○		1
1 学期 期末	単元 古代オリエント文明とその周辺 ①オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ④エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。 ⑥クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。 ⑦アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を多面的・多角的に考察し表現する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	授業内小テスト			○	○		1
	単元 ギリシア人の都市国家 ①ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ②スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
2 学期 中間	単元 ローマと地中海支配 ①ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ②地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
				○	○		1
	単元 キリスト教の成立と発展 ①キリスト教の成立の経緯を理解している。 ②ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学期 期末	単元 ルネサンス ①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しい古さを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	授業内小テスト			○	○		1
	単元 イスラーム教の諸地域への伝播 ①イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ②南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ③東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。 ④アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				9
3 学期	授業内小テスト						1

令和7年度 年間授業計画

教科名	公民	科目名	政治・経済（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	3学年 選択				
使用教科書	第一学習社 高等学校 政治・経済				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公民的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公民的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ること

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	- 政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 - 法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 - 法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 - 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 【思考・判断・表現】 法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	- 基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。 - 個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的な内容について、理解している。 - 人権は人権保障に向けてどのように努力してきたか、理解している。 - 権利と義務との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。 - よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 国会の地位と構成について、理解している。 - 法律はどのようにして成立するのか、理解している。 - 国会の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 日本の内閣と国会の関係について、理解している。 - 内閣総理大臣と内閣の権限について、理解している。 - 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。・新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的な内容について、理解している。・人権は人権保障に向けてどのように努力してきたか、理解している。 ・民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。 ・国会の地位と構成について、理解している。・法律はどのようにして成立するのか、理解している。 ・日本の内閣と国会の関係について、理解している。 ・内閣総理大臣と内閣の権限について、理解している。 【思考・判断・表現】 個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・権利と義務との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国会の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末	- 司法権の独立と日本の裁判制度について、理解している。 - 国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ 「現代政治のあり方」 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 司法権の独立と日本の裁判制度について、理解している。・地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について、理解している。・政党の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】 国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地方自治における住民の権利と住民運動の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	- 経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 - 資本主義経済の特質とその変容について、理解している。 - 価格とはどのようにして決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している。 - 三つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。 - 株式会社のしくみと株主との関係について、理解している。 - 企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - ストックとフローの概念や、GDPなどの指標について、理解している。 - 経済成長率における名目と実質の違いや、経済成長の要因について、理解している。 - インフレとデフレの原因と影響、景気変動のしくみについて、理解している。 - 物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 - さまざまな市場の失敗の事例と、その弊害について、理解している。 - 公害と消費者問題に対する施策について、理解している。 - 自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 市場経済の機能と限界について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 ■諸課題へのアプローチ 「外部不経済の内部化の方法」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。・資本主義経済の特質とその変容について、理解している。 ・三つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。 ・株式会社のしくみと株主との関係について、理解している。 ・ストックとフローの概念や、GDPなどの指標について、理解している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・さまざまな市場の失敗の事例と、その弊害について、理解している。 ・公害と消費者問題に対する施策について、理解している。 【思考・判断・表現】 価格とはどのようにして決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期 中 間	- 財政の機能としくみについて、理解している。 - 租税の種類やその特徴について、理解している。 - 財政における国と地方の役割分担について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。 「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 - 金融のさらきと金融機関の役割について、理解している。 - 日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。 - 現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。 「金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第4節 持続可能な財政および租税のあり方 ①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ 「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 ①金融のしくみと金融機関 ■諸課題へのアプローチ 「資金の流れと企業における資金調達」のあり方 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 財政の機能としくみについて、理解している。 ・租税の種類やその特徴について、理解している。 ・金融のさらきと金融機関の役割について、理解している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。 【思考・判断・表現】 財政における国と地方の役割分担について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現在金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	- 日本経済における産業構造の変化について、理解している。 - 現在の日本経済の現状と課題について、理解している。 - 日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 労働三法の内容について、理解している。 - 現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 日本の社会保障制度について、理解している。 - 日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 - 経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第6節 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ 「格差の理由とその対策」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 日本経済における産業構造の変化について、理解している。 ・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。 ・労働三法の内容について、理解している。 【思考・判断・表現】 現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の社会保障制度と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 末	・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 ・「取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。」	第2章 現代日本の諸課題の探究〔選択〕 1 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 2 地域社会の自立と政府 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4 産業構造の変化と起業 5 歳入・歳出両面での財政健全化 6 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構想の実現 7 防災と安全・安心な社会の実現 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 ・諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	8
	・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 ・国際社会の多極化や国際協力について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法と国内法の違いや、国際法の種類や特徴について、理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて、理解している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について、理解している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化するべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか、理解している。 ・紛争当事者の変化や、平和的解決のための取り組みについて、理解している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていく必要があるか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 ・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 ・国際法と国内法の違いや、国際法の種類や特徴について、理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて、理解している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について、理解している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化するべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか、理解している。 ・紛争当事者の変化や、平和的解決のための取り組みについて、理解している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていく必要があるか、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 ・日米安全保障協力の強化と自衛隊の海外派遣について、理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・比較優位の考え方や国際分業の利点について、理解している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際収支統計の基本的な構成について、理解している。 ・国際収支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と、日本経済の動向について、理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について、理解している。 ・地域的経済統合やF T A・E P Aの意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、国益と地味的な規模での協調が求められている現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】 ・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 ・日米安全保障協力の強化と自衛隊の海外派遣について、理解している。 ・比較優位の考え方や国際分業の利点について、理解している。 ・国際収支統計の基本的な構成について、理解している。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際収支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・地域的経済統合やF T A・E P Aの意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、国益と地味的な規模での協調が求められている現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						1

授業時数合計 70

令和7年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学B（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	第3学年 A組・B組・C組・E組				
使用教科書	最新 数学B（数研出版）				
使用教材	3ROUND 数学B（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関りについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	第1章 数列 第1節 数列とその和 【知識及び技能】 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 数列 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号 Σ 自然数の2乗の和 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・数列の定義、表記について理解している。 ・数列の一般項から、各項を求めることができる。 ・数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。 ・等差数列の公差、一般項などを理解している。 ・初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 ・自然数の和、奇数の和、倍数の和が求められる。 ・等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 ・記号 Σ の意味を理解し、 Σ の式を和の形で表したり、数列の和を Σ の式で表したりすることができる。 ・ Σ の性質や、 Σk 、 Σk^2 などの公式を適切に用いて、 Σ で表された和を計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・自然数の2乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の2乗の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末	第1章 数列 第1節 数列とその和 第2節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 いろいろな数列の和 階差数列 漸化式と一般項 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・第 k 項を k の式で表して、初項から第 n 項までの和が求められる。 ・和の求め方を工夫して、数列の和が求められる。 ・数列の和 S_n と第 n 項 a_n の関係を理解し、数列の一般項が求められる。 ・和 S_n の利用では、初項の扱いに注意して一般項が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ・階差数列の利用では、初項の扱いに注意して一般項が求められる。 ・漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 ・初項と漸化式から一般項が求められる。 【思考力・判断力・表現力】 ・初項から第 n 項までの和に着目して、一般項を考察できる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $f(k+1)-f(k)$ を用いる和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期 中 間	第1章 数列 第2節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 ・数学的帰納法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 数学的帰納法 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・数学的帰納法を用いて、等式、不等式を証明できる。 ・ある数の倍数であることを、文字を用いて表現できる。 ・数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・自然数 n に関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	5
	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 確率変数と確率分布 確率変数の期待値 分散と標準偏差 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・確率分布を計算式や分布表を用いて表すことができる。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・試行の結果を確率分布で表すことの意味が捉えられている。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 ・確率変数 $aX+b$ と確率変数 X のそれぞれの期待値、分散と標準偏差の関係について積極的に考察しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 期 末	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 二項分布 二項分布と期待値、分散、標準偏差 連続型確率変数 正規分布 二項分布の正規分布による近似 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・連続的な確率変数について理解し、確率密度関数から確率を求めることができる。 ・標準正規分布表を用いて、標準正規分布に関する確率の計算ができる。 ・正規分布に従う確率変数 X を標準正規分布に従う確率変数 Z に変換できる。 ・標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 ・日常の身近な問題を統計的に処理するのに正規分布を利用できる。 ・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率分布で近似して求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導出することができる。 ・面積を利用した確率分布の表し方を理解している。 ・正規分布の特徴を理解し、さまざまな視点から捉えられる。 ・二項分布のグラフと正規分布曲線の関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 ・連続的な確率変数である正規分布に興味をもち、正規分布について積極的に考察しようとする。 ・確率 $P(m-\sigma \leq X \leq m+\sigma)$ を求めることができ、その結果を考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 【知識及び技能】 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 母集団と標本 標本平均の分布 母平均の推定 母比率の推定 仮説検定 ・教材 最新 数学B 3ROUND 数学B ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・全数調査と標本調査の特徴を理解し、適する調査方法を選ぶことができる。 ・母平均と母標準偏差がわかれば、標本平均の値がどのくらいの確率で現れるか推測できることを理解している。 ・推定にかかわる用語・記号を適切に活用することができる。 ・信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定にかかわる用語を適切に活用することができる。 ・仮説検定の考え方を用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ・無作為抽出の方法について関心をもち、調べてみようとする。 ・母平均や母比率の推定に関心を示す。 ・仮説検定に関心を示す。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

授業時数合計 70

令和7年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学C（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	第3学年 B組・C組・E組				
使用教科書	最新 数学C（数研出版）				
使用教材	3ROUND 数学C（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 ベクトル ベクトルの和 ベクトルの差 ベクトルの実数倍 ベクトルの成分 ベクトルの成分と演習 ベクトルの内積 内積の性質 ・教材 最新 数学C 3ROUND 数学C ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・有向線分とベクトル、ベクトルの表記について理解している。 ・ベクトルの向き、相等について理解している。 ベクトルの加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。 ・有向線分で表されたベクトルについて、和、差、実数倍を考察できる。 ・1つのベクトルと平行な単位ベクトルを式で表現して利用できる。 ・有向線分表示されたベクトルを、2つのベクトルの和、差に表現できる。 ・座標平面上のベクトルの成分を読み取り、その大きさを求めることができる。 ・成分表示されたベクトルの和、差、実数倍の計算ができる。 ・成分表示されたベクトルの平行条件を理解し、計算に利用できる。 ・成分表示されたベクトルを、2つのベクトルの和、差に表現できる。 ・座標平面上の点とベクトルの成分の関係について理解している。 ・ベクトルの大きさとなす角から、内積を求めることができる。 ・成分表示されたベクトルについて、内積を求めることができる。 ・ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 ・成分表示されたベクトルの垂直条件を理解し、計算に利用できる。 ・内積の性質（計算法則）を理解し、計算に利用できる。 ・ベクトルの大きさを内積におき換えて扱うことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・和や差における逆ベクトル、零ベクトルの役割を理解している。 ・ベクトルのなす角について理解している。 ・内積は実数であることを理解している。 ・内積でベクトルの大きさが考察できることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベクトルの演算に興味をもち、数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ・ベクトルと座標平面を関連させ、ベクトルが成分で表現できることに興味・関心をもつ。 ・内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。 ・ベクトルを利用して、三角形の面積を求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
1 学期 期末	第1章 ベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 【知識及び技能】 ・位置ベクトル、ベクトルと図形、ベクトル方程式について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式 ・教材 最新 数学C 3ROUND 数学C ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・線分の内分点、外分点を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を理解している。 ・点Pが直線AB上にあることをベクトルで表現して利用できる。 ・図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて、図形を考察できる。 ・ベクトルの分解について理解している。 ・線分上の点を、線分を $s:(1-s)$ に内分する点として処理できる。 ・直線のベクトル方程式を理解している。 ・直線のベクトル方程式の媒介変数変換処理ができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・位置ベクトルの概念について理解している。 ・ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用できる。 ・直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線の方程式と関連付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベクトルを利用して円の性質を考察する意欲がある。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間	第1章 ベクトル 第3節 空間のベクトル 【知識及び技能】 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分と演算 ベクトルの内積 位置ベクトル 空間図形への応用 ・教材 最新 数学C 3ROUND 数学C ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 ・空間における図形を、図や座標を利用して示することができる。 ・座標空間において、点の座標が求められる。 ・空間のベクトルを与えられた3つのベクトルで表すことができる。 ・平行六面体におけるベクトルを、和の形で表すことができる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、相等、和、差、実数倍の計算ができる。 ・立体図形におけるベクトルの内積を、適切な方法で計算できる。 ・成分表示されたベクトルについて、内積を計算できる。 ・ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 ・垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 ・ベクトルの諸定理が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用できる。 ・3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 ・2点間の距離の公式を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 ・空間ベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 ・ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できる。 ・空間における図形を、1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・既知である平面の座標の概念を空間の座標へ拡張しようとする。 ・球面のベクトル方程式に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期 期 末	第2章 複素数平面 【知識及び技能】 - 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 - ド・モアブルの定理について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 - 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 - 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 複素数平面 複素数の和と差 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と平面図形 ・教材 最新 数学C 3ROUND 数学C ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 - 複素数平面について理解している。 - 複素数を、複素数平面上の点として表示できる。 - 複素数の絶対値の定義を理解し、複素数の絶対値を求めることができる。 - 点zに対し、点kzを複素数平面上に表示できる。 - 複素数α, βに対し、$\alpha + \beta, \alpha - \beta$を表す点を複素数平面上に表示できる。 - 複素数を極形式で表すことができる。 - 積・商の極形式について理解し、それを用いて複素数の積、商を求めることができる。 - 複素数の積の図形的な性質を理解し、αzが点zをどのように移動した点かを考察することができる。 - 点zを原点を中心に回転した点を表す複素数を求めることができる。 - ド・モアブルの定理の意味を理解している。 - ド・モアブルの定理を利用して、複素数のn乗の値を求めることができる。 - ド・モアブルの定理を利用して、1のn乗根を求めることができる。 - ド・モアブルの定理を利用して、方程式$z^n = \alpha$の解を求める方法を理解している。 - 複素数平面上において、2点間の距離を求めることができる。 - 複素数zが満たす等式を、図形として考察することができる。 - 複素数平面上にある三角形の内角を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 - 複素数の実数倍は相似拡大を表していることを理解している。 - 複素数の加法・減法は平行移動を表していることを理解している。 - 偏角は一般角で表されることを知っている。 - 複素数の乗法・除法は回転移動及び拡大・縮小を表していることを理解している。 - 絶対値と偏角によって線分の長さや角の大きさを捉え、初等幾何学的な問題を複素数の問題に帰着させることができることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 複素数平面を用いて、複素数を図形的に表現することに興味・関心を示す。 - 複素数平面上の点の位置関係を通して、共役な複素数の性質などを調べようとする。 - 複素数が絶対値と偏角を用いて表されることに興味・関心をもち、進んで考察しようとする。 1のn乗根が複素数平面上のどのような点で表されているかについて興味・関心をもち、進んで考察しようとする。 - 等式を満たす点zが複素数平面上でどのような図形を描くかに興味・関心を示し、考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第3章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 【知識及び技能】 - 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解している。 - 曲線の媒介変数表示について理解している。 - 極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることがについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 - 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。 - 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 放物線 楕円 双曲線 2次関数の平行移動 2次曲線と直線 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといういろいろな曲線 ・教材 最新 数学C 3ROUND 数学C ・一人1台端末の活用 等 解説動画の視聴 他	【知識及び技能】 - 焦点と準線が与えられたとき、放物線の方程式を求めることができる。 - 放物線の概形をかくことができる。 - 放物線の方程式から、焦点、準線などを求めることができる。 - 楕円の方程式から、焦点、長軸・短軸の長さなどを求めることができる。 - 楕円の概形をかくことができる。 - 焦点の座標と焦点からの距離の和が与えられたとき、楕円の方程式を求めることができる。 - 双曲線の方程式から、焦点、頂点、漸近線などを求められる。 - 双曲線の概形をかくことができる。 - 焦点の座標と焦点からの距離の差が与えられたとき、双曲線の方程式を導くことができる。 2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式を求めることができる。 x, yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を考察することができる。 - 複雑な方程式で表された2次曲線を、平行移動を利用して考察することができる。 2次曲線と直線の共有点の座標を求めることができる。 2次曲線の接線の方程式を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 - 数学Ⅱで学習した軌跡の考え方を利用して、放物線の方程式を導くことができる。 1年で学習した2次関数のグラフとしての放物線と2次曲線としての放物線に関連付けて捉えることができる。 - 放物線の焦点がx軸上にあるか、y軸上にあるか、その方程式から考察することができる。 - 楕円の焦点がx軸上にあるか、y軸上にあるか、その方程式から考察することができる。 - 与えられた条件を満たす点の軌跡としての楕円の方程式を導くことができる。 - 双曲線の焦点がx軸上にあるか、y軸上にあるか、その方程式から考察することができる。 - 曲線$F(x-p, y-q)=0$は、曲線$F(x, y)=0$を平行移動したものであることを理解している。 2次曲線と直線の位置関係を2次方程式の実数階の個数で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次曲線を幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。 - 軌跡の考え方を利用して、楕円の方程式を導くことに興味・関心をもつ。 - 軌跡の考え方を利用して、双曲線の方程式を導くことに興味・関心をもつ。 円、放物線、楕円、双曲線がxとyの2次方程式で表されていることに興味・関心をもつ。 - 複雑な方程式で表される2次曲線を、平行移動の考えを利用して調べようとする。 2次曲線と直線の位置関係について2次曲線と直線の共有点の個数で調べようとする。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	柔道（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	2年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育：大修館書店				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 柔道のルールを理解する。 袈裟固・横四方固の習得。 袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。 うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。 自分が仰向けの態勢からの攻撃パターンの習得。 背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。	主体的に取り組んでいるか 正しい態度で話を聞いているか 授業のルールを理解し守ることのできているか 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか 相手を尊重する態度で取り組んでいるか 受身が正しく出来ているか 抑技が正しく出来ているか 礼法が正しくできているか 対人練習の仕方と体の操作が出来ているか	○	○	○	20
2 学期	伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。 うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。 自分が仰向けの態勢からの攻撃パターンの習得。 背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。 背負い投げ、大腰は、取と受の意味を理解し、技をかけられるようにする。 二人一組の対人で、崩し、体さばき、受け身を用いて投げ技を扱うようにする。	主体的に取り組んでいるか 正しい態度で話を聞いているか 柔道のルールを理解し守ることのできているか 相手を尊重する態度で取り組んでいるか 受身が正しく出来ているか 抑技が正しく出来ているか 礼法が正しくできているか 対人練習の仕方と体の操作が出来ているか ルールを理解し公正に試合が出来ているか	○	○	○	35
3 学期	体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	柔道のルールを理解し公正に立ち技の試合をすることができる。	公正な態度で試合ができるか 相手を敬い、試合をすることができたか 柔道の試合のルールを理解できたか 運動やスポーツの意義を理解できているか	○	○	○	15

令和 7 年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	教養英語（3年選択）	単位数	4
対象学年・組	3学年 A組 B組 C組 E組				
使用教科書	Skyward 最新入試英語長文20選				
使用教材	Active Listening、CNN Comprehensive Trainer				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の特徴やきまりなどの理解や外国語の音声や語彙・表現、文法の知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	外国語で情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの理解を深め、その知識・理解を4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、英語で発信される情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自ら適切に表現できる力を養う。	英語という言語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	「 」 や 「 」 読	「 」 読	書					
1 学 期	C 単元 Unit 1 Unit2 【知識及び技能】 ・文化と歴史を理解する。 ・エネルギー問題を理解する。 ・分詞構文について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ケーキについて紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	24
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Unit 3 Unit4 【知識及び技能】 ・食文化について理解する。 ・ビジネスについて理解する。 ・形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットを使ってマーケティングする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	24
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C 単元 Unit 5 Unit6 【知識及び技能】 ・英語学習について理解する。 ・ジェンダー論について理解する。 ・関係副詞に関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ジェンダーについて発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	30
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Unit 7 Unit8 【知識及び技能】 ・環境について理解する。 ・言語について理解する。 ・現在分詞の後置就職に関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー問題について調べて発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	37
	定期考査								○	○		1
3 学 期	C 単元 Unit 9 Unit10 【知識及び技能】 ・人体・医学について理解する。 ・都市問題について理解する。 ・関係代名詞whatに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 医学について調べて発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	20
	学年末考査								○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	家庭	科目名	家庭科演習（3年選択）	単位数	2
対象学年・組	3学年 選択者				
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
使用教材	2024最新 生活ハンドブック 資料&成分表&ICT（第一学習社）				

教科の目標

【知識及び技能】	人間の生産にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、保育、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生産を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
衣食住、保育、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学期	A 単元 食生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について生活と環境の関わりについて理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活と健康 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 調理の基礎 ・教材 教科書、資料集、ワークシート、調理実習材料・用品 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、生活と環境の関わりを解まえて目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
	B 単元 衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージの目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・被服製作の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・被服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。 ・被服製作の基礎について自ら学び、被服の造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 衣生活と健康 1 被服材料の特徴、性能 2 被服の管理 3 被服製作実習 4 衣生活の文化と知恵 5 持続可能な衣生活 ・教材 教科書、資料集、ワークシート、被服実習材料・用品 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・被服製作の基礎について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・被服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・被服製作の基礎について自ら学び、被服の造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
1 学期	C 単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自己の家庭生活や地域の生活を関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 ホームプロジェクト ・生活に生かそう ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の家庭生活や地域の生活を関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	A 単元 食生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について生活と環境の関わりについて理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活と健康 1 ライフステージに応じた食事計画 2 食料と調理 3 持続可能な食生活 ・教材 教科書、資料集、ワークシート、調理実習材料・用品 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、生活と環境の関わりを解まえて目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
	D 単元 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・子供を生育させることの意義について考えとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 子どもの生活と保育 1 子どもの発達と保育 2 子どもの文化と遊び 3 子どもの生活と保育 4 これからの保育環境 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 保育人形、模型等 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・子供を生育させることの意義について考えとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3 学期	E 単元 住生活と住環境 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 住生活と住環境 1 住空間の構成と平面計画 2 持続可能な住生活 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

授業時数合計

70